

第1回ビッグデータ勉強会（関西）のお知らせ【第2報】

ビッグデータ人間工学研究部会

部会長 新家 敦

日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会では、ビッグデータに対する部会員向けの勉強の場を提供することになりました。比較的小人数での内容の濃い勉強会を開催したいと思いますので、ご興味のある方は参加をご検討ください。

講演は3題で、大阪市立大学の岡田明教授による「実験室実験の限界」、大阪ガス行動観察研究所の松波晴人所長による「行動観察×ビッグデータ 新たな価値を生むために」、富士通デザインの上田義弘社長による「ビッグデータの利活用に関するデザインービッグデータを利活用するビジョン開発やサービスデザイン事例のご紹介」となっています。3氏による講演の概要をいただきましたので、下記をご覧ください。

開催日時：2016年11月05日（土）13時より16時まで（約3時間）

場 所：株式会社 島津製作所（京都市中京区）W70 号館 16 号室

アクセス：株式会社 島津製作所 本社・三条工場

<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

定 員：20～40 名程度

※主にビッグデータ人間工学研究部会会員を想定していますが、非部会員、日本人間工学会の非会員でも参加可能です。

内 容：

講演1（40分）※質疑応答込み

「実験室実験の限界」 大阪市立大学 岡田 明

概要

使いやすく安全で快適なモノづくりの多くは、人間工学の実験や調査により得られたデータが活かされている。しかし、こうした実験や調査の手法は決して万能ではない。そのやり方次第では物事の本質を正しく捉えることなく誤った結論に導く恐れもある。この勉強会では、これまで人間工学研究で培われてきた「実験」という手法に焦点をあて、その功罪や限界を概観する。そして、実験では得ることが難しい、モノの使用現場で捉えられる大量かつ継時的な使用履歴等に関するビッグデータの人間工学的活用の可能性について考える。

講演2（40分）※質疑応答込み

「行動観察×ビッグデータ 新たな価値を生むために」 大阪ガス 行動観察研究所 松波晴人

概要

あらゆる企業・組織に「新たな価値を生む」ことが求められています。しかし、どうすれば「新たな価値」を生むことができるのでしょうか？講演では、「新価値創造」のための方法論、そして重要なスキル、マインドセットについて、理解していただこうと思います。そしてそのときに、行動観察とビッグデータはそれぞれどういう役割を果たすべきか、を議論します。「正解のない問いに答えを出す」ことを、ぜひ一緒に考えましょう。

講演3 (40分) ※質疑応答込み

「ビッグデータの利活用に関するデザインービッグデータを利活用するビジョン開発やサービスデザイン事例のご紹介ー」 富士通デザイン 上田義弘

概要

ビッグデータと人間工学の関わりには大きく2つの方向性があると考えている。一つは、製品開発にビッグデータを活用して使いやすさや機能性を向上させる方向性。もう一つは、ビッグデータを活用して人間生活に役に立つ新たなサービスやビジネスを提案し、それを具体化する方向性。後者は提案するサービスやビジネスが本質的に必要か、その評価・検証が重要になる。また、具体化のプロセスで人間工学的な評価・検証も必要になる。本講演では後者の事例及び開発プロセスを紹介し、人間工学との関係を考えてみたい。

ディスカッション (60分) :

内容は検討中ですが、ご希望があればご連絡ください。

なお、これまでに寄せられたご意見は、以下のようなものです。

- ・ 定性的な調査とビッグデータとの結び付け
- ・ 定性調査の結果を、ビッグデータのパラメータとしてどのように落とし込むか
- ・ 個人差、外乱など.....
- ・ 人間工学的検討のアジャイル実践

参加費 : 無料

担当幹事 :

大阪市立大学 岡田 明, 名古屋市立大学 榎原 毅 (協力), 島津ビジネスシステムズ 新家 敦 (協力)

【参加申し込み・連絡先】

株式会社島津ビジネスシステムズ内 日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会 事務局
新家 敦 (しんや あつし) (事務局兼部会長)

連絡は電子メールにて、shiny@shimadzu.co.jp 宛て以下の書式で参加希望とご連絡ください。

<題名>

「第1回ビッグデータ勉強会 (関西) 参加希望 (2016/11/05 開催)」

<本文内容>

- ・ 氏名
- ・ 所属
- ・ 連絡先電子メールアドレス
- ・ 日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会 部会員区分 (部会員 | 非部会員 | 非学会員)
- ・ 専門・興味分野 (任意)
- ・ 当日ディスカッションにて検討したいテーマ (任意) をご記入ください。

※申し込み時に「部会員」と表明いただければ部会員として扱わせていただきます (現在のところ、部会の会費は無料です)。

<受付連絡について>

参加を受け付けた方には、新家から折り返し電子メールにて連絡いたします。

<申し込み期限>

2016年11月02日 17時00分までにご連絡ください。

■第2回勉強会について

第1回勉強会の成果・感想を踏まえて、第2回ビッグデータ勉強会を関東地区で開催する予定です（開催日時未定）。